

インタビューNo.8：百貨店営業担当 森田さん・若田部さん

【背景・きっかけ】

総実労働時間1700時間台の達成は、最も従業員数が多い百貨店営業部に掛かっていると認識しており、特に百営本社2担当およびカウンター店長の時間外削減に取り組んでいる。



【具体的取組み】

①業務改善・労働時間管理

・業務改善による時間外削減の「百貨店営業担当8か条」を作成（百貨店営業担当）



百貨店営業担当8か条

毎日のこと	労務管理シートに当日の勤務内容記載を徹底する。
	明日でも良いことを残業して対応しない。
	FXを活用し、メリハリをもって勤務する。
メール・資料・議事録	メール本文は簡潔でわかりやすく。
	資料作成の手戻りをなくすための不明点は事前に確認する。
	議事録の発言は要点をまとめて記載。
会議	会議は目的とゴールを明確にして、時間を短縮する。
	会議招集時は、資料を事前に共有・確認し、必要以上に参加者を招集しない。

時間外削減だけを押し進めると浸透せずに効果が出ないため、業務改善とセットで取り組んでいる。8か条が掲げられたことで、各自が日々の業務を見直すきっかけになり、結果時間外削減を実現している。

・時間外削減キャンペーンを実施 (百貨店営業担当・カウンター営業担当)

「フレックスもしくは残業5分以内」または「8か条の内3つ以上を実行した日」に各自がシールを貼ることでお菓子の抽選券を得るキャンペーンを8月、12月、1月に実施。8か条の浸透により各人が自ら業務改善をおこなっているが、キャンペーンとすることで更に明るく取り組むことができ、対話が増えた結果、担当全体で効率的な働き方を実現している。



【他部署へのメッセージ】

全員参加で楽しく実施できる方法で実践し、成果にもつながっています。



【組合より】執務室に入るとPOPなポスターが目を引きまます。百営らしいキラキラ感！8か条の掲示は、何をすれば時間外削減になるか明確で私自身も取り入れようと思いました。